



年代別会費納入状況

1998. 10. 25現在

卒業年次	主 将	会員数	納入者数	納入率
昭37	長谷川	1	1	100%
38	後 藤	3	3	100%
39	小 池	6	4	67%
40	大 石	3	2	67%
41	渡 辺	4	3	75%
42	嶺 岸	14	9	64%
43	天 沼	6	5	83%
44	安 藤	8	4	50%
45	三 浦	7	5	71%
46	眞 谷	9	5	56%
47	白 井	4	2	50%
48	田中良	11	4	36%
49	鈴木進	4	2	50%
50	鈴木貞	11	5	45%
51	笹 岡	8	3	38%
52	横 山	8	3	38%
53	鳥 海	4	2	50%
54	内 藤	6	2	33%
55	中 村	8	3	38%
56	戸 塚	7	3	43%
57	勝 部	11	7	46%
58	村 田	5	3	60%
59	本 間	9	6	67%
60	土持敦	8	3	38%
61	土持博	6	3	50%
62	杉 野	8	4	50%
63	高 橋	3	1	33%
平 1	大 平	5	2	40%
2	渡 辺	8	3	38%
3	紀 伊	9	6	67%
4	音 湘	2	1	50%
5	音 湘	3	2	67%
6	若 狭	6	5	83%
7	中 島	3	1	33%
8	宮 本	8	0	00%
9	中 野	7	4	57%
10	川 津	7	0	00%

増える会員  
増えない会費

今年度の会費収入は、十月二十五日現在一〇〇万円で、本年の事業予算(一二九万円)を割り込んでいます。今後の振込みや持参払いを考慮しても、不足は避けられない状況です。当会は、会員からの会費と寄付金だけで運営されています。毎年会員は数名づつ、増え続けています。しかし会費は、ここ数年横ばい状態です。去る八月十八日に開催された幹事会で納入状況を会員にお知らせすべきとの意見があり、左の表を本紙で公表することとなりました。

現在当会員は二四〇名、そのうち約半数の一二一名が会費を納入しています。当会では会員相互の親睦を深めるための企画や剣道部(現役)への援助をますます篤くしたいと考えています。この実現には会費収入の増加が、待たれます。納入率の低い期の主将は、是非ご同期に働きかけ納入促進にご協力ください。

会費納入はいつでもできます。

振込口座

名義 武蔵大学剣友会 大竹茂雄

東京三菱銀行渋谷支店

普通口座 六八三二九二四

第一勧業銀行渋谷支店

普通口座 一五二五三二四

便利な自動振替をご利用ください。ご一報ください。申込書お送りします

剣友会連絡係 松井邦夫

☎〇三―三三三三―五八〇五  
F〇三―三三三三―五八〇八



# 剣道部・剣友会 合同 夏合宿開催

去る、八月二十八日、二十九日の両日沼津市に於いて、夏合宿が開催されました。今回は初めての試みで、学生の合宿に合流して実施しました。警視庁の梯(かけはし)、竹内両先生、松森師範にご指導いただき、充実した稽古となりました。

この合宿では沼津市在住の岡田行一氏(昭三九卒)に事前の準備をしていただき、地元伊豆中央高校の剣道部員も参加していただきました。又、土屋一徳氏(昭三九卒)にも、宿舎や道場のご手配をいただき、地元剣連の先生、同志社大学OBの参加もあり、盛況のうちに終了しました。安藤栄重氏(昭四四卒)は富士市よりお越しになり、十五年ぶりで、竹刀を握られました。また、旧制高等学校の打木城太郎氏は、山梨学院大学の合宿から引き続き参りいただき、久々にその剣風に接する機会を得ました。来年夏の合宿も同地へと約束し、台風来襲のなか、解散しました。

## 秋の合宿

# 日程決まる

毎年恒例の「剣友会秋の合宿」は、次の通りに決まりました。千倉のおいしいお料理で懇親会も又楽しみです。

今年も警視庁の先生方にご指導いただく予定です。お知り合い、ご家族お誘い合わせてご参加ください。

場所 千葉県安房郡千倉町瀬戸三、二九一  
「矢原荘」

## 日程

十一月十四日(土) 午後二時 集合(矢原荘)

十五日(日)

同 三時	稽古開始(高校道場)
同 六時	懇親会・夕食
午前八時	朝食
同 九時	稽古開始
十時半	稽古終了
十二時	昼食
午後二時	解散



夏合宿に参加の先輩、先生(敬称略)  
上段 日暮、松井、岡田、安藤、渡辺、長谷川  
下段 荻生、打木、長谷川、松森、土屋、宮沢

# 年越稽古

本年は開催せず

約四十年に亙り、実施されてきた十二月大晦日の「越年稽古」は、年々の参加者の減少や部員の減少で開催が難しくなり、剣友会役員と剣道部役員 相談の結果、本年より当分の間開催を休止することとなった。旧制武蔵高校の先輩や例年参加の先輩から惜しむ声がありましたが、止むを得ぬこととなった。

なお、十二月までのスケジュールは、次のとおりです。剣道部行事も合わせて御通知します。

十一月八日(日)

午前九時 四大学剣道大会  
午後三時 合同稽古会

於 学習院大学体育館  
応援に行かれる先輩は防具を持参下さい。  
審判の先生、先輩、学生の合同稽古があります。

十一月十四日-十五日

剣友会 秋合宿 本紙記事参照

十一月二十一日 関東学生新人戦

於 東京武道館

十一月二十二日 東都学生剣道大会

於 日大藤沢校舎

十二月六日(日)

午後二時 関根杯、伊能杯

於 大学体育館

十二月十三日(日) 学連剣友剣道大会

於 剣友会忘年会

十二月五日、十二日、十九日 午前十一時

本紙四頁参照  
剣友会稽古会

詳細のお問い合わせは、

〇三一二三三三二一五八〇五 連絡係松井迄



『学連剣友剣道大会』東京武道館に集まれ

十二月十二日(日) 午前九時

毎年恒例の「東京学連剣友剣道大会」は、東京武道館で開催されます。

本剣友会からは昨年同様龍王杯(七人制)二チーム、鳳凰杯(五十五歳以上三人制)一チームが参加します。土屋一徳総監督(昭三十九卒)は、「参加二チーム共、初戦突破をねらいます」と、抱負を語っています。

試合前日(十二日)は十一時から、大学錬心館において稽古会が開催されます。大会出場者は、必ずこの稽古会に出席し、調整をしておいて下さい。大会に出場されない方も、是非参加して選手を励まして下さい。

大会当日は九時から入場できます。ご家族皆さんで応援に来て下さい。東京武道館は、営団地下鉄千代田線・JR常磐線「綾瀬駅」北口下車、徒歩五分です。入場無料です。

大会出場者(龍王杯)

Aチーム			Bチーム		
氏名	年齢	段位	氏名	年齢	段位
宮本憲二	25	三段	中野誠享	24	三段
櫻村哲夫	30	四段	岡博和	32	四段
笹川敏広	34	五段	土持博和	35	四段
藤木恒二	45	四段	土屋富士雄	44	五段
笹岡秀次	44	六段	佐藤則夫	45	五段
紙谷正之	51	六段	藤谷繁美	51	七段
坂井達郎	54	七段	渡辺欽五	52	七段

(鳳凰杯)

氏名	年齢	段位
土屋一徳	57	七段
日暮道生	59	六段
長谷川勲	59	三段

年末の一日を剣道浸けにしませんか  
本年最後の大会イベント

剣友会 平成十年忘年会

試合の後は、午後二時より当会主催の忘年会を開催します。参加希望者は、十二月四日迄に、松井までご連絡ください。

会場 綾瀬駅南口「あら川」

〇三―三三五八―六五四六

葛飾区小岩四―十四―五

七、〇〇〇円(女性五千円)

参加資格 性別、年齢不問

短信単信

昭五十二年卒業のお二人から御便りをいただきました。

武蔵大学剣友会の皆様大変ご無沙汰をしております。私は現在熊本に在任し、妻、長男、長女、次女の五人家族です。卒業して二十年の月日が経ちますが、今でも大学のキャンパスや道場を懐かしく想い出します。卒業以来、竹刀を握る事もなく今は近くの小学校で子供達の練習を時々見ている毎日です。今後も剣友会のご発展と現役の学生諸君のご活躍をお祈り致します。

同期のみんなとは、もう二十年ぐらいい会って

ません。お元気ですか？現在長男一七歳、長女一四歳。主人の仕事がサラリーマンから自営に変わり、私は専ら電話番で、自由に外出できない生活にも慣れてきました。子供二人が習っていた剣道も長男は止めてしまいい、その代わり私が始めて三年前に四段を取りました。テニスも始めて回数回汗を流しています。体力に自信はありませんが、無理ない程度にスポーツをたのしんでいます。

武田(旧元吉)美代子  
〒三〇〇五 東京都足立区足立 上五



上段右 武田美代子先輩



# 渡辺欽五氏（現監督）

七

段

昇

段

去る九月二十六日栃木県宇都宮市で開催された七段の昇段審査会で当剣友会員の渡辺欽五氏（昭四五卒）が、七段に昇段しました。氏は現在剣道部の監督を勤め、学生と一緒に稽古に励まれています。五月に開催した松森師範のご指導による、昇段審査講習会にも参加し、日々研鑽を積み上げてきました。当会では四人目の七段で十月十七日記念の稽古会と祝賀会が開かれました。同期の松山（奈良県在住）鈴木晃（宇都宮在住）の両氏が参加し、関根名誉師範もお越しいただき、お祝いや激励をいただきました。また席上現役から花束が、当会からは日本工芸会正会員杉江幸治氏作の化粧皿が贈られました。



昇段記念稽古会に参加の  
上段 水木 日暮 紙谷 光藤 長谷川 諸兄  
下段 関根名誉師範 渡辺七段 長谷川会長

## 五つのポイントを大切に

受審二回目で七段に合格したのは、「幸運」に恵まれたと思えてなりません。一回目の挑戦（京都）は、受審する仲間がおらず不安だったように思います。一人というのは、何かと不便で所持金、防具などの監理が気になり、審査に集中できなかつたようです。受審するときは、仲間や介添えがいてくれると、楽な気分です。審査に集中できる、と思います。一回目の審査の一人目と対戦中、竹刀の手元部分から何かが飛び出しているのが見えたが、そのまま続行していたところ、審査員からストップがかかりました。竹刀を点検すると、十センチ程割れていて、その時「今日の審査もこれでお仕舞いだな」と思い、その後の立ち会いについては余り覚えていません。平常心を完全に



昇段記念稽古会で指導される関根名誉師範



昇段講習会で松森師範と日本剣道形の稽古をする渡辺七段

失ってしまったので結果は当然不入格でした。

二回目（宇都宮）の前に松森先生や長谷川会長からアドバイスを戴きました。

①気合（発生）は、尻下がりにならない事  
②打ち切ること③礼をして蹲踞するまで威風堂々と振る舞うこと④減り張りをきかせ、面だけ出なく胴、小手も打突すること⑤初太刀を大切にすることです。このことを胸に納めて審査にのぞきました。今回は、落ち着いてこのご項目が出来たと思います。後刻一人目の立会者から「全く圧倒され、手の下し様がなかった」と評されました。

二人目の立会は、厳しく攻めて相手の出端を捉えた、面、小手、胴でした。

振り返ってみれば、日頃の稽古量や、自分の欠点を矯正して正しい剣道をして来た事が、審査のときに自信となって現れたと思われまふ。審査に望み冷静でいられるかが本場に大事なことです。最後になりましたが、関根先生、松森先生、諸先輩に心より感謝致しております。（渡辺欽五 記）